

# ベトナム史書における彗星記事について

岡崎 彰

元 群馬大学

## Comet Records in Vietnamese Historical Sources

Akira OKAZAKI

*Gunma University*  
*okazaki@gunma-u.ac.jp*

### Abstract

We list 61 comet records from ancient times to the middle 18th century, which are found in three Vietnamese historical sources, *Việt Sử Lược* (越史略), *Dại Việt Sử Ký Toàn Thư* (大越史記全書), and *Dại Nam Thực Lục Thiên biên* (大南寔録 前編). We compared these records with those of Chinese historical sources, and found that ~65% of them correspond to Chinese records. We suggest the possibility that Vietnamese records in years BC may have been affected by Chinese records. We also briefly discussed some discrepancies in comet records between each Vietnamese historical source.

## 1 はじめに

中国・朝鮮・日本における古代・中世・近世の史書や日記などには、天文現象の記事が少なからず含まれており、このうちのいくつかは、現代の天文学に貴重なデータを提供してくれている。同じ東アジアに位置するベトナムの史書にも天文現象の記事が含まれている。

ベトナムは10世紀に中国(宋)から独立して以来、15世紀の一時期を除いて19世紀まで、いくつかの王朝が交代しながらその独立を維持した。しかし、中国文化の影響は大きく、日本や朝鮮と同じように、当時の文書の多くは漢文で書かれていた。ベトナムは地理的に南に位置しているため、中国・朝鮮・日本からは見るのが難しい南天の観察に有利な立場にあり、独自の記録も少なくない。したがって、ベトナムの史書における天文記事の内容を調べることで新たな知見が得られる可能性がある。

我々は、ベトナムの史書に収められた、古代から18世紀後半までの彗星出現の記事を収集した。本稿では、これら彗星記事のリストを掲げ、先行研究との比較、中国などの古記録との比較、ベトナム史書相互の比較などを行う。

## 2 調査した史書

今回調査した史書は、正史またはそれに準ずるもので、「越史略」(*Việt Sử Lược*)、「大越史記全書」(*Dai Việt Sử Ký Toàn Thư*)、「大南寔録 前編」(*Dai Nam Thực Lục Thiên biên*)の3つである。以下に、これらの史書について簡単に記す。

「越史略」は編纂者不詳の史書で、中国の「守山閣叢書」などに収められている。叢書の注釈には、越史略がもともとベトナムから伝わったものであることが明記されており、オリジナルは本国のベトナムで滅びたとみられている。越史略には古代から1225年までの記事が含まれている。(山本 1950, 陳 1980)。

「大越史記全書」は、後期黎朝までのベトナム歴代王朝の正式な史書である。この史書は、呉士連の編纂による古代から967年までを収めた外紀五巻および968~1427年を記した本紀全書に始まり、その後も後継者たちによって本紀実録、本紀続編、本紀続編追加が順次編纂されて、1675年までを収めている。また、これらの続編ともいべき「大越史記続編」なる史書が存在し、その後から1789年までの期間を扱っている(陳 1977)。調査では、陳 荊和(1984-86)による「校合本 大越史記全書(上・中・下)」を用いた。同書は大越史記続編も併せて収めており、本稿でも断りのない限り、この続編も含めて「大越史記全書」と呼ぶことにする。

「大南寔録」は、ベトナム最後の王朝である阮朝欽定の史書である。「前編」と「正編」に分かれているが、「前編」は後期黎朝時代に阮氏がベトナム南部を実質的に統治していた1558年から1777年までを扱っている。調査では、慶應義塾大学語学研究所が刊行した「大南寔録 — 大南寔録前編、大南列傳前編」(1961)を使用した。

## 3 調査結果

上記3つの史書から合計67件の彗星記録を収集した。内訳は、越史略から6件、大越史記全書から55件(このうちの8件は大越史記続編から)、大南寔録前編から6件である。これらのうち、大越史記全書と越史略に収められている3件、大越史記全書と大南寔録前編に収められている3件の合計6件は、出現時期や記載内容から判断して同一彗星の記録とみられる。これらの重複を考慮すれば、3つの史書に記録されている古代から1789年までの彗星出現は、合計61件である。

彗星出現記録のリストを、本稿末尾の表A1に掲げた。表の各項目について説明する。

「番号」は通し番号であるが、複数の史書で同一の出現を記したと思われるものは同じ番号にまとめて併記した。このうち、No.14では2つの史書で記載年が異なっているが、次の考察で述べるように、両史書にはこの時期の記載年に2年の系統的なずれが知られており、これを考慮すると、同一時期の出現と見なすことができる。

「記載内容」は各史書の彗星記事の原文を示す。参考のために、記載年の脇に、これにほぼ相当する西暦年をカッコで添えた。記事の末尾のカッコは記載史書の略号(注に表記)を示す。

「中国」は、北京天文台主編「中国古代天象記録総集」(1988)を参照して、該当する記録が中国史書にも存在するかどうかを示した。原則として、正史または正史に準ずるものを優先して選んで内容を比較したが、地方史しかなかった場合はその旨「備考欄」に掲げた。は「暦月の一致する記事有り」、は「±1カ月の範囲で一致する記事有り、もしくは暦月が示されていない場合、時期の整合する記事有り」、は「2カ月程度のずれの記事有り」、×は「無し(有るとしても3カ月以上のずれ)」を表す。ベトナムと中国の旧暦には著しい違いはないが、閏月の挿入時期の違いなどにより、1カ月のずれを生ずることがある。1544

年以降については、Lê Thành Lân (2007) がベトナムの歴史料に基づいてベトナム暦を再現して対照表を作成しているの、これを参照して両国の暦に1ヵ月のずれのある場合は備考に記した。

「他文献」の欄には、Ho Peng-Yoke (1964) [H] と Okazaki and Yokoo (1983) [OY] によるカタログの番号を示した。

「備考」には、必要に応じて簡単な注釈を記した。

## 4 考察

### 4.1 先行研究との比較

Ho Peng-Yoke (1964) は大越史記全書（大越史記続編を除く）の天文古記録を調べ、44 件の彗星記事を拾い出している。今回、我々が行った調査では、同じ範囲で 47 件の彗星記事を見つけた。新たに加わった記事は、No.10, No.12, No.42 の 3 件ある。また、西暦年の換算でも若干数の細かい誤りのあることがわかった。たとえば、No.1, No.11 に対して Ho Peng-Yoke (1964) はそれぞれ 204 BC, AD 1097 を与えているが、正しくはそれぞれ 203 BC, AD 1098 である。

Okazaki and Yokoo (1983) は越史略の天文古記録を収集し、6 件の彗星記事を掲げている。今回の調査で得られた 6 件は、同じ彗星記事であり、とくに追加はなかった。

### 4.2 中国などの古記録との比較

彗星の出現は軌道の分かっている周期彗星以外は、時間的にさかのぼって出現の様子を推算できない。したがって、信頼度について何らかの手がかり得ようとするとき、ひとつの方法として考えられるのは、夜空の観察を体系的に行っていた中国の記録との比較である。もちろん、地理的緯度の条件もいくらか異なり、中国の記録自体の信頼度も（相対的には高いと推測されるが）問われなければならないが、それでも、このような比較は一定の意味はあるといえるだろう。

今回得られた 61 件のうち、中国の史書に記事内容が概ね一致する（対応する）もの（表中の と [前節参照]）は合わせて 39 件、約 65%であった。さらに、大まかに 200 年毎に区切って、その期間の記録数のうち、中国の記録と対応する（概ね一致する）記録数の割合をプロットしたのが図 1 である。ここでは、と は 1、は 0.5 とカウントした。なお、200 年毎の区切りから漏れてしまう若干数の記録（たとえば、BC 203 や AD 1700 年代の記録）は直近のグループに組み入れてある。このグラフからわかるように、AD 1000 以降は着実に対応率が高まっていく傾向がみられる。

その一方で、不思議なことに、紀元前は際立って対応率が高い。しかも、10 件の記事はほとんどが中国史書のものとそっくりである（×の No.1 も記載年の 1 年の違いを除けばそっくりである）。もちろん、10 文字にも満たない短い（彗星記録の）定型文ある以上、そっくりになること自体は十分にあり得ることである。しかし、ベトナムが独立する 10 世紀よりもはるか以前の記録であり、その後 1000 年間以上の記録の空白があること、しかも、独立後の記録と比べて中国の記録との対応率が際立って高いことを考え合わせると、紀元前の記録については、史書編纂の過程で中国の記録の影響を受けた可能性を否定できない。

17 世紀に入ってから中国の記録との比較で興味深いのは、同じ記録が中国の正史には見つからず、地方史に見つかる場合がいくらかあることである。該当するものは、表 A1 の「備考」欄に示してある。具体的には、福建省や広東省など中国南部の地方史が多く、ベトナムと緯度が近い地域であることは注目される。

なお、中国では記録が見つからないが、日本と朝鮮で記録見つかっている例もある。No.24 がそれに該当する。

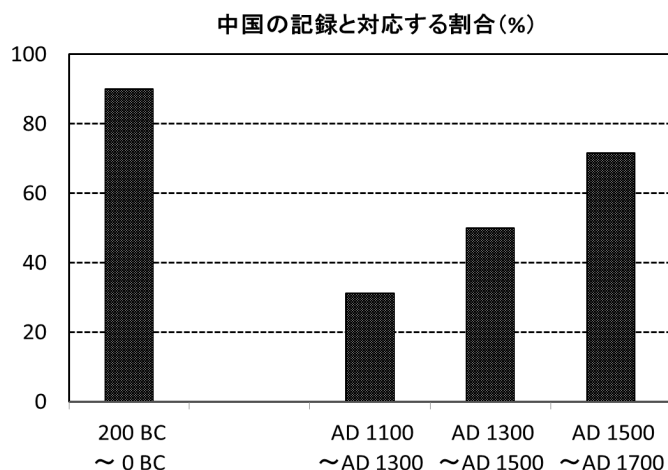


図 1: 中国の記録と対応する記録数の割合 (200 年毎)

### 4.3 ベトナム史書相互の比較

越史略と大越史記全書の記事を比較すると、いくつかの限られた期間で同一内容の記事が系統的に1~2年ずれて記載されていることが知られている(山本, 1950)。Okazaki and Yokoo (1983) はその期間に木星と金星の「犯」の記事があることに着目し、天文計算による当時の両惑星の推算位置を比較して、少なくともこの時期については越史略の記載年の方が妥当であろうと指摘している。

No.14 の越史略(大定五年[AD 1144], 夏四月, 彗星見)と大越史記全書(大定七年[AD 1146], 夏四月, ...彗星見)の記事は、同じように両史書が系統的に2年ずれている時期に当たっている。ここでは、惑星現象のように計算に基く方法は使えないので、中国、さらに日本、朝鮮の記録と比較した。すると、これらの国の史書等には、いずれもAD 1145に同じ四月の彗星の記録が見つかった。ベトナムの両史書の記載年には、この時期、2年以内の不確実性があることを考慮すると、両記事ともAD 1145の記録である可能性が高い。だとすれば、この時期は、越史略の記載年が1年早い方にずれ、大越史記全書の記載年が1年遅い方にずれていることになる。

## 5 まとめ

- ・ベトナム史書に記載された古代から1789年までの彗星出現の記事を61件収集した。
- ・中国史書の記録との比較により、61件中39件(65%)が中国の記録と対応していることがわかった。
- ・紀元前の記録については、中国との対応率が際立って高く、編纂過程での中国の記録からの影響を受けた可能性は否定できない。
- ・No.14の越史略(AD 1144)と大越史記全書(AD 1146)の記載年のずれについては、中国、日本、朝鮮の記録との比較から、この彗星の出現年はAD 1145と考えられる。

## 参考文献

- Ho Peng-Yoke, 1964, "Natural phenomena recorded in the Đại-Việt Sử-Kỷ Toàn-Thư, an early annamese historical source", *J. American Oriental Society*, **84**, 127-149.
- Lê Thành Lân 2007, *Đối chiếu lịch Dương với lịch Âm-Dương của Việt Nam và Trung Quốc 2030 năm [ 0001-2030 ]*, NXB Giáo Dục, Hà Nội.
- Okazaki, A and Yokoo, H, 1983, "Astronomical records (1040 - 1225) in the medieval Vietnamese source Việt-Sử Lược", *J. Oriental Studies*, **21**, 40-44
- 慶應義塾大学語学研究所 1961, 「大南寔録 — 大南寔録前編, 大南列傳前編」, (慶應義塾大学語学研究所, 東京)
- 陳 荊和 1977, 「大越史記全書の撰修と伝本」, 東南アジア - 歴史と文化 - , No.7, pp.3-36
- 陳 荊和, 1980, 「『大越史略』 — その内容と編者 —」, 山本達郎博士古稀記念論叢編集委員会編「東南アジア・インドの文化」第2巻(山川出版社, 東京), 143-155
- 陳 荊和 1984-86年, 「校合本 大越史記全書(上・中・下)」, 東洋学文献センター叢刊 第42, 44, 47輯, (東京大学東洋文化研究所, 東京)
- 北京天文台主編 1988, 「中国古代天象記録総集」(江蘇科学技術出版社, 北京)
- 山本達郎, 1950, 「越史略と大越史記」, 東洋学報, **34**, 53-76

表 A1: ベトナム史書における彗星記事 (古代から 1789 年まで)

番号	記載年 (西暦 <sup>§</sup> )	記 載 内 容 (史書*)	中国史書†	他文献‡	備考
1	武帝 五年 (203 BC)	秋七月, 有星孛于大角 (TT)	x	Ho-01	
2	武帝 五十一年 (157 BC)	秋九月, 有星孛于西方 (TT)		Ho-02	
3	武帝 五十三年 (155 BC)	冬十一月, 有星孛于西方 (TT)		Ho-03	
4	武帝 五十四年 (154 BC)	春正月, 長星出西方 (TT)		Ho-04	
5	武帝 六十年 (148 BC)	夏四月, 有星孛于西北 (TT)		Ho-05	
6	武帝 六十一年 (147 BC)	秋九月, 有星孛于西北 (TT)		Ho-06	
7	武帝 七十年 (138 BC)	秋七月, 有星孛于西北 (TT)		Ho-07	
8	文王 二年 (135 BC)	秋八月, 有星孛于東方, 長竟天 (TT)		Ho-08	
9	明王 六年 (119 BC)	春, 有星孛于東北 (TT)		Ho-09	
10	明王 六年 (119 BC)	夏, 長星出西方 (TT)		—	Ho (1964) 欠
11	會豊 七年 (AD 1098)	秋八月, ... 彗見 (TT)	x	Ho-10	
		秋八月, ... 彗見 (VSL)	x	OY-04	
12	龍符元 六年 (AD 1106)	春正月, 彗星見西方長竟天 (TT)	x	—	Ho (1964) 欠
13	龍符元 六年 (AD 1106)	夏五月, 彗星見 (VSL)	x	OY-06	
14	大定 五年 (AD 1144)	夏四月, 彗見 (VSL)	x	OY-07	本文参照
	大定 七年 (AD 1146)	夏四月, ... 彗星見 (TT)	x	Ho-11	本文参照
15	天感至 十二年 (AD 1174)	十二月, 彗星見南方 (TT)	x	Ho-12	
16	治平龍 六年 (AD 1210)	秋七月, ... 彗星見 (TT)	x	Ho-13	
		秋七月, ... 彗星出 (VSL)	x	OY-16	
17	建嘉 八年 (AD 1218)	春三月, ... 彗星見西南 (TT)	x	Ho-14	
18	建嘉 十二年 (AD 1222)	秋八月, 彗星見於西南方 (VSL)		OY-17	
19	建嘉 十五年 (AD 1225)	夏, 彗見 (VSL)	x	OY-18	
20	紹隆 七年 (AD 1264)	二月, 彗星見東北 (TT)	x	Ho-15	
21	紹隆 七年 (AD 1264)	秋七月六日, ... 忽有彗星見東北, 長竟天 (TT)		Ho-16	
22	興隆 元年 (AD 1293)	秋, ... 彗星出于紫微垣, 抵斗魁, 光芒尺餘凡, 百日乃滅 (TT)		Ho-17	
23	興隆 六年 (AD 1298)	十二月, 彗星見東方, 帝避正殿減膳 (TT)		Ho-18	
24	興隆 十二年 (AD 1304)	十二月, 彗星見南方 (TT)	x	Ho-19	日本・朝鮮の記録
25	興隆 二十一年 (AD 1313)	三月, 彗星見西方 (TT)		Ho-20	
26	開祐 九年 (AD 1337)	六月, ... 彗星見東北 (TT)		Ho-21	
27	大治 四年 (AD 1361)	春正月, 彗星見東北, 帝避正殿 (TT)	x	Ho-22	
28	大治 五年 (AD 1362)	二月, 彗星見北方 (TT)		Ho-23	
29	大治 十一年 (AD 1368)	春正月, 彗星見于昴宿之間 (TT)		Ho-24	
30	昌符 十二年 (AD 1388)	秋八月, 彗星見西方 (TT)	x	Ho-25	
31	順天 六年 (AD 1433)	閏八月, 彗星出西方 (TT)		Ho-26	

§: 記載年 (旧暦) と西暦年とは年初がずれていることに注意。時期によっては彗星出現の西暦年と 1 年のずれが生じる場合がある。

\*: 史書の略号: VSL...「越史略」, TT...「大越史記全書」, DNTL...「大南寔録 前編」。

†: 中国史書における該彗星の記録の有無: ... 月の一致する記事有り, ... ± 1 カ月の範囲で一致する記事有り, ... ± 1 カ月の範囲で一致しない場合, 時期の整合する記事有り, ... 2 カ月程度のずれの記事有り, x ... 無し (有るとしても 3 カ月以上のずれ)。

‡: Ho は Ho Peng-Yoke (1964), OY は Okazaki and Yokoo (1983) のリスト番号。

表 A.1: ベトナム史書における彗星記事（古代から1789年まで）[ 続き ]

番号	記載年（西暦 <sup>§</sup> ）	記載内容（史書*）	中国史書†	他文献‡	備考
32	紹平 六年（AD1439）	夏四月，有彗星見西方（TT）		Ho-27	
33	天興 二年（AD1460）	春二月，...有孛星見于翼分野（TT）	×	Ho-28	
34	天興 二年（AD1460）	夏五月，蚩尤白旗自東至西，横天蔽彩（TT）	×	Ho-29	
35	景統 六年（AD1503）	夏四月，彗星出東方（TT）	×	Ho-30	
36	泰貞 元年（AD1504）	八月，...是月，有長星見西北（TT）	×	Ho-31	
37	端慶 五年（AD1509）	冬十月初一日，有彗星白色見于西方十日始滅...十一月，有白氣如劍，出于東南，長十丈餘（TT）		Ho-32	中国記録は地方史
38	大正 三年（AD1532）	冬十月，...是月，彗星見東方（TT）		Ho-33	
39	嘉泰 五年（AD1577）	十一月，彗星見，直指東南，光芒長四十丈，紅赤相暎，人大驚怖。十二月，朔彗滅...（TT） 冬十一月，彗星見于東南（DNNTL）		Ho-34	
40	光興 三年（AD1580）	九月，流星大作，聲如巨雷，又有彗星出（TT）		Ho-35	
41	光興 十四年（AD1591）	三月，彗星指西北行（TT）		Ho-36	
42	光興 十六年（AD1593）	七月二日，彗星見東方，指東北行（TT）		—	Ho (1964) 欠
43	光興 十九年（AD1596）	秋七月，...彗星出，指西北行（TT）		Ho-37	
44	弘定 十九年（AD1618）	夏四月，...二十四日寅時，有彗星見于西南方，形如紅綳。二十八日酉時，有星直見騰西方走，形如帛疋（TT）	×	Ho-38	
45	弘定 十九年（AD1618）	九月，時有白氣，形如鐵直立，每夜五更，常見在東南方，...。平安王曰「九月下旬，有異昇見于東南方...」（TT）		Ho-39	
46	弘定 十九年（AD1618）	十一月【（十月）十一日】，夜五更，彗星見東方，月蝕始滅，...平安王曰「本月十一日，夜再有異星出現...」（TT） 冬十一月，彗星見東方，月蝕始滅（DNNTL）		Ho-40	[ ]内は別版の表記
47	慶徳 三年（AD1651）	春，彗星見東方（TT）	×	Ho-41	
48	盛徳 元年（AD1653）	春二月，彗星見東方（TT）	×	Ho-42	
49	景治 二年（AD1664）	十一月，...己丑，彗出東南翼軫分，尾指張宿，長五丈，...（TT）		Ho-43	
50	景治 六年（AD1668）	春正月，己丑，有天?星出西北方，長半丈，形如彗星（TT）		Ho-44	
51	永治 元年（AD1676）	秋七月，壬戌，慧星見東北，至十月乃滅（DNNTL）		—	中国史書は地方史
52	正和 元年（AD1680）	冬十月，...庚申，慧出西方（TT）		—	越曆九月は清曆十月
53	正和 二年（AD1681）	春二月，甲寅，彗見軫宿（TT）		—	中国史書は地方史
54	正和 三年（AD1682）	秋八月，戊寅，彗出軫翼...（TT） 秋八月，壬午，有雙星犯月，常隋月而行...（DNNTL）	×	—	
55	正和 四年（AD1683）	秋七月，辛巳，妖星犯月，至九月乃滅（DNNTL）		—	
56	正和 四年（AD1683）	冬十一月，戊寅，旗星見東南，色赤白相半，長約三十餘尺，次年乃滅（DNNTL）	×	—	
57	正和 十九年（AD1689）	冬十月，...庚寅，彗出翼軫宿（TT）		—	中国史書は地方史
58	正和 十六年（AD1695）	秋七月，戊寅，彗出東方（TT）		—	中国史書は地方史
59	正和 二十二年（AD1701）	夏四月，...甲寅，彗出翼軫宿（TT）		—	中国史書は地方史
60	保泰 四年（AD1723）	九月，...甲午，彗出女宿。...癸卯，彗滅（TT）		—	
61	景興 四年（AD1743）	十一月，慧出，長一尺，二旬乃滅（TT）		—	

§: 記載年（旧暦）と西暦年とは年初がずれていることに注意。時期によっては彗星出現の西暦年と1年のずれが生じる場合がある。

\*: 史書の略号: VSL...「越史略」, TT...「大越史記全書」, DNNTL...「大南寔録 前編」

†: 中国史書における該彗星の記録の有無: ...月の一致する記事有り, ... ± 1カ月の範囲で一致する記事有り, もしくは月が示されていない場合, 時期の整合する記事有り, ... 2カ月程度のずれの記事有り, x ...無し(有るとしても3カ月以上のずれ)

‡: Ho は Ho Peng-Yolke (1964), OY は Okazaki and Yokoo (1983) のリスト番号